科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	歴史の中の政治と人間 Politics in Historical and Theoretical Perspectives			担当者所属 職名・氏名	法学研究科　教授　　伊藤　之雄 公共政策大学院 教授　　島田　幸典		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	水2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（法学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

この授業は、政治学関係の諸講義の入門的役割を果たすと同時に、広く教養科目としての位置づけを果たすことを意図している。前半（島田担当）では政治理論分野を、後半（伊藤担当）では政治史分野を扱う。

[到達目標]

政治学、とくに政治理論・政治史に関する基礎的な知識と考え方を身につけること。

[授業計画と内容]

政治理論

（１）政治理論の基礎
①基本概念
②国家論の系譜

（２）民主主義と自由主義
③直接民主制と代議制
④政治権力と個人の自由
⑤リベラル・デモクラシーの展開
⑥大衆民主主義の時代

（３）政治理論の現在
⑦今日の政治をめぐる理論的課題

政治史

（１）近代国際政治体系の成立
①近代国際政治体系

（２）近代国家の成立
②近代国家の形成
③指導者像
④外交と内政

（３）第一次世界大戦以降の政治
⑤二度の世界大戦
⑥冷戦と国内政治
⑦冷戦後の政治状況

まとめ

歴史の中の政治と人間(2)へ続く↓↓↓

歴史の中の政治と人間(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）により、到達目標の達成度に基づき、評価する。

【評価基準】＊平成26年度以前のカリキュラムの適用学生
到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。
80〜100点：目標を十分に達成しており、優れている。
70〜 79点：目標について標準的な達成度を示している。
60〜 69点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。
0〜 59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。
【評価基準】＊平成27年度以降のカリキュラムの適用学生
到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。
96〜100点：目標を十分に達成しており、とくに優れている。
85〜 95点：目標を十分に達成しており、優れている。
75〜 84点：目標について良好な達成度を示している。
65〜 74点：目標について標準的な達成度を示している。
60〜 64点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。
0〜 59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。

[教科書]

使用しない
参考文献は授業のなかで紹介する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業のなかで指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]